

授業科目

視覚総合演習I

担当教員名 増田 修、前田 史篤、志賀 木綿子 (非)	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

視覚機能学実習で学んだ検査を実践し、多数例の検査データを得る。得られたデータを分析し討論することで、「視能訓練の問題設定と解決手段」を学ぶ。

授業の目的

視能検査を正しく実践し、得られたデータを科学的に評価・分析する眼を養うことを目的とする。

学習目標

1. 視能検査を正しくできる。
2. 検査データを評価できる。
3. 多数例の検査データを科学的に分析し、その特徴を把握することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-2	ガイダンス データのまとめ方	演習	増田 修、前田 史篤、志賀 木綿子
3-10	自覚的視力検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	自覚的屈折検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	他覚的屈折検査 (据え置き型・手持ち型)	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	動的視野検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	静的視野検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	眼軸長検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	角膜屈折力検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	角膜内皮細胞検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	眼位検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	調節検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	眼圧検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
3-10	眼球運動検査	演習	増田 修、志賀 木綿子
11	データまとめ	演習	増田 修、前田 史篤、志賀 木綿子
12-15	プレゼンテーション	演習	増田 修、前田 史篤、志賀 木綿子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011年	18,000円+税	前年までに購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

グループ発表 70%
提出物 30%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば原則として1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

水曜日の昼休み
P307
osamu-masuda@nuhw.ac.jp